

公益財団法人 九州大学学術研究都市推進機構 (OPACK)

組織の目的

同機構は、九州大学の知的資源を活かした、九州大学学術研究都市における産学官の連携や企業・研究機関等の立地を促進し「九州大学学術研究都市構想」が描くまちづくりを具体化する総合マネジメント組織で、地元産学官の九州大学、経済界、自治体で構成されています。

推進体制

国内外への構想のプロモーション活動等を担う「九州大学学術研究都市推進協議会」に加えて具体的な学術研究都市づくりの総合マネジメントを行う「九州大学学術研究都市推進機構」が平成16年10月に発足し、構想の推進体制が強化されています。

- ◎九州大学
- ◎経済界
- ◎福岡県
- ◎福岡市
- ◎糸島市
- ◎佐賀県
- ◎唐津市ほか

九州大学学術研究都市 推進協議会

産学官による構想推進体制

- ◎構想のプロモーション(広報)活動
- ◎国等の支援要請
- ◎学術研究都市憲章(仮称)の制定
- ◎糸島市計画連合の設立推進

九州大学学術研究都市推進機構 (OPACK)

学術研究都市づくりの総合 マネジメント組織

- ◎学術研究都市に関する広報活動
- ◎産学官の共同研究による研究開発支援
- ◎企業・研究機関等の立地支援
- ◎産学連携交流支援
- ◎知の中央ステーション(HST)への各種機能の準備・推進

※九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)のHP及びOPACKにおける「新たなフェーズにおける事業方針」、
「OPACKの中期事業計画」等の関連情報を掲載：<http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/link/index.html>

新たなフェーズにおけるめざす姿

持続的にイノベーションが創出される活力ある学研都市

先進技術がもたらす次世代の豊かな暮らしがある学研都市

自然、歴史、文化を享受し、多様な人々が交流する学研都市

10年後（2028年）の目標値

企業の進出・創業や学研都市発ベンチャーの起業

100社以上

新しい社会の実現に向けた先端技術の実証・実装事業

100件以上

域外交流（企業視察・学術会議（国際会議等））を10年後に

年間500件以上

めざす姿の実現に向けた取組の方向

戦略1
イノベーション

戦略2
ライフスタイル

戦略3
世界・アジアとの交流

戦略4
シティプロモーション

取組の方向	主なポイント
<p>戦略1 知の交流・創造活動によるイノベーション・エコシステムの構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○外部機関の協力を得ながら幅広いプラットフォームの構築 ○農学部(農場・圃場)移転に伴うシーズ事業化 ○ライフサイエンス分野の出口を見据えた産業化 ○スタートアップ資源(人材・資金・施設等)の充実 ○Society5.0、SDGsへの取組
<p>戦略2 快適で質の高いライフスタイルを実現する環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○キャンパス周辺の都市機能(生活利便サービスや交流の場等)の充実 ○地域との相互交流・アカデミックなイベント等の充実 ○多様な交通ニーズへの対応・交通利便性の向上
<p>戦略3 世界・アジアとの交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○九大のグローバル化に対応した人材の定着等地域経済への還元 ○ベンチャー支援等による外国人人材の受け皿強化 ○学術研究都市のさらなる国際化の対応
<p>戦略4 九州大学学術研究都市のシティプロモーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学術研究都市の成長を感じさせる魅力ある頻度の高い情報発信 ○学会等に対応した宿泊・コンベンション等のサービス導入

《各界からの意見も参考に作成》

ヒアリング先：九州大学研究者24人、企業・事業者・研究機関20社、地域公共機関・関係団体8団体

新たなフェーズにおいて、OPACKでは3年間3期サイクルで中期事業計画を策定

第1期の中期事業計画期間（2020～2022）においては、以下の基本方針によりOPACKが中心となって九大学研都市づくりに取り組む

- ◆ 九州大学の持つ知見・シーズを、福岡・九州の地域振興、社会貢献につなげるプロジェクトの推進
- ◆ 地元企業、研究機関、官公庁、地域等様々な主体への情報発信と連携の強化
- ◆ 新たな分野・テーマの展開、さらなるイノベーションの喚起に向けた積極的なチャレンジ

戦略 1

知の交流・創造活動によるイノベーション・エコシステムの構築

- 先端科学技術分野推進に加え、理工農文など分野を越えた連携による新たなテーマのプラットフォーム形成・コンソーシアム創設支援、企業立地促進策として創業・スタートアップの促進
- イノベーション創出を図るワークショップなど、ステークホルダーや有識者との情報共有や交流・連携の強化
- 大学、自治体、経済界のニーズ把握、地域貢献に資する研究テーマプロジェクト発掘、実証試験、社会実験の導入促進・Society5.0、SDGsの実現、研究成果応用・実用化に向けた基盤づくり

- ① 農林水産業コンソーシアム創設事業
- ② ライフサイエンス研究開発強化事業
- ③ 九大学研都市発スタートアップ促進事業
- ④ 先端科学技術の研究等支援事業
- ⑤ 学術研究都市を実証フィールドとする研究プロジェクト導入

KPI (～2022)

農林水産業コンソーシアムの組成	1件
ライフサイエンス関連産業連携事業	3件
学研都市発ベンチャー起業等	20件
新たなインキュベート・スタートアップ支援施設の導入	1件
OPACKが関与する共同実証事業等	15件

戦略2

快適で質の高いライフスタイルを実現する環境整備

- 「基盤整備」から「サービス充実」、「問題対応」から「質の向上」へ。キャンパス周辺を中心に生活支援サービス充実、にぎわいや交流の創出
- 九大、地域・各種学校、企業・事業者等の連携と協力によって地域価値を高めるプラットフォームづくり
- 交通環境の喫緊の課題への対応、キャンパス内外の交通関係実証事業の導入支援、新技術の活用を含む中長期的検討

① 低未利用空間の有効活用による都市機能強化事業

② 地域価値創造プラットフォームの構築

③ 学術研究都市づくりに対する関心向上イベントの開催

④ 交通体系強化

KPI (～2022)

低未利用地空間利用 実証事業	4件
地域価値創造プラットフォーム のスキーム構築・運用開始	
新たなまちづくり活動・生活 環境改善の取組	3件
交通に関する実証事業 誘致	2件

戦略3

世界・アジアとの交流

- 地元自治体、経済界と連携し、留学生との交流を深め、海外人材の地元での活躍の機会創出
- 交流の場の形成、孤立化予防、生活面でのサービス充実等地域等と一緒に取組む環境の醸成

① 留学生人材定着促進事業

② 外国人研究者・留学生等の居住環境整備事業

KPI (～2022)

留学生受入企業	10社増
新たな交流事業・ 課題対応事業	3件

戦略4

九州大学学術研究都市のシティプロモーション

- 学研都市の研究プロジェクトやベンチャー紹介、都市の魅力・ポテンシャルの認知度向上
- 地元経済界と大学との更なる交流の促進
- MICE関係機関との連携・共働による域外交流の活発化、MICE関連サービス機能の誘致

① Web等を効果的に活用した情報発信の強化

② 地元経済界と九州大学との交流促進事業

③ MICE推進事業

KPI (～2022)

HP閲覧数	30万PV/年
MICE関連サービス機能 導入	3件